

## 第34話 睦月：協働の学び

1月24日、海田西中学校区の公開研究会が本校で開催され、本校からは3年生と6年生が授業提案を行いました。今年度は、低学年は道徳、中・高学年は外国語を中心に、**児童同士がかかわり合うことを通して、課題を解決していく授業を目指して、研究を進めて参りました。**

6年生は、2月下旬に本校で国際スポーツ交流会を開催し、外国の方とシッティングバレーを行うことを計画したことを受けて、そのときに着用する「ユニフォーム」につけるチームエンブレムを考案することにしました。そこで、外国語の

学習において、外国の方どんなエンブレムを作ったらよいかを、英語で尋ねることを想定して、友だちにインタビューをしました。

参加者からは、「**児童の発話量や英語力に驚いた**」「日頃、朝の会や休憩時間等を利用して、**数分間の英語の練習をしている成果**です。」と評価の言葉をいただきました。今後、コミュニケーションの道具としての英語を学ぶ視点を大切にしながら、英語で自分の思いを伝えることの楽しさを児童全員が持てるように指導してまいりたいと思います。

3年生は、「**考え、議論する道徳**」を参観していただきました。本校では、昨年度から、従来の心情面の理解に偏った道徳とは異なり、**多様な考え方に触れながら自己を見つめ、自分の生き方について考えることを主眼にして研究を進めています。**

授業では、宿題を忘れた友だちから、「**答えを教えてほしい**」とお願いされたとき、自分ならどうするだろうかと考えさせ、「**教える・教えない**」という行動面と、その結果「**すっきりする・すっきりしない**」という心情面の両方の視点から議論させ、友情や信頼について考えさせようとするものです。参加者からは、「**素直な心で、一生懸命に学習しようとする意欲が感じられました**」「**一人ひとりが自己を見つめること、多面的な考えをもたせることが大切だと分かりました。**」と、本校が研究してきた道徳の提案に理解を示していただきました。今後、児童から出された多様な考えを整理し、**児童一人一人の心をゆさぶる発問を行うことで、深い学びにつなげていくことが求められると考えております。**

授業者以外の教職員も、学習指導案や模擬授業で授業者と協働しながら授業づくりを行って、本公開研究会に臨みました。これからも、児童同士のコミュニケーション能力を高めるために、体を向けて「**聞く**」ことをベースに、話し手の意見と自分の考えを比べて、相手の考えのよさに気付くとともに、**共通点や相違点を整理しながら「聴く**」ことで、自分の考えを高めていく授業づくりに取り組んでいきたいと考えておりますので、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。